

神奈川県逗子市のがけ崩れ事例をふまえた斜面点検時の留意事項（案）

1. 神奈川県逗子市のがけ崩れの原因(国土技術政策総合研究所報告書より抜粋)
 - ・ 当該箇所は、海生の段丘状地形で三浦層群池子層の凝灰質砂岩を基盤とする泥岩と砂岩の互層で構成される斜面である。
 - ・ 東北東向きの日当たりの悪い急傾斜面において、放射冷却及び強い季節風が相まって風化が促進され、崩落に至った。(マンションの日影に当たり植生は貧弱になっている。)
 - ・ 土層深（厚）が周辺の標準よりやや小さく、植生が貧弱であったため、風化防止作用が不十分だった。

2. 当該箇所の斜面の状態の整理
 - ①地質：第三紀鮮新世の地層で火山噴出物を含む堆積岩及び付加体
 - ②季節風の影響：季節風が卓越する北向きの斜面
 - ③植生の状況：植生が貧弱な斜面

3. 当該事例をふまえて点検時に留意すべき事項
対策が行われていない自然斜面は、次の事項に留意して点検することが望ましい。
 - ①地盤の風化：地域ごとに風化による崩落の実績がある地質条件の箇所について点検を実施
 - ②季節風の影響：強い季節風の影響を受ける斜面について点検を実施
 - ③植生の状況：植生が貧弱な斜面について点検を実施
 - ④斜面の状況：斜面の亀裂等の変状、落石・浮き石の有無に着眼して点検を実施